

第10回「視覚障がい者対応研修」を実施

～ 新入職員43名が受講 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、2月9日（金）、新入職員を対象に「視覚障がい者対応研修」を実施しました。今回で10回目の開催となります。

当金庫では、障がいのあるお客さまが利便性や質の高いサービスをご利用いただけるよう、さまざまな取り組みを進めています。その一環として、視覚障がい者に関する正しい知識を学び、適切な対応方法を身につけることを目的に、平成27年から毎年、本研修を実施しています。

当日は、大阪市社会福祉協議会と大阪市福祉教育語りの会から講師を招き、日常生活で手助けが必要な場面や接し方等について、実演を交えて教わりました。また、実演後には、視覚に障がいをお持ちの講師の方が折り紙で手作りした“しおり”が配られ、その丁寧な仕上がりに感嘆の声があがりました。続いて、当金庫事務部の職員による視覚障がいのあるお客さまに配慮した当金庫の事務の取り扱いや、サインガイドを使用した伝票の記入方法、手話でのあいさつの仕方などの研修も実施しました。

今回の受講で得た知識を生かし、障がいのあるお客さまに寄り添った親身な対応を実践し、誰もが利用しやすい店舗づくりに一層努めてまいります。

記

1. 概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 実施日 | 令和6年2月9日（金） |
| (2) 受講者数 | 43名 |
| (3) 講師 | ・ 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
由浅 悠 氏
・ 大阪市福祉教育語りの会
鈴木 昭二 氏、山本 美恵子 氏
・ 当金庫 事務部 職員 |

2. 視覚障がいのあるお客さまに配慮した当金庫の主な取り組み

- (1) 視覚障がい者の代筆・代読の実施とサインガイド(自署いただく箇所
がわかる型枠)の設置
- (2) 視覚障がい者対応ATMを設置
- (3) 視覚障がい者用 音声による来店案内システムを導入（一部店舗）
- (4) 点字ブロックの敷設、点字による取引記録明細、満期案内の発行等
- (5) 窓口振込手数料の引き下げ（ATM扱いと同額）



研修の様子



講師をモデルに介助を体験する職員（右）



講師作成のしおり

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

